

## 1. 市民開発サポート方針の策定 計画系

### 市民開発ガイドラインおよび学習カリキュラムの制定

- 市民開発ガイドライン 制定
  - 開発規定マニュアル修正
  - アプリマップ制定
  - 「プロセスオーナー」「重要なデータ」定義
- 市民開発ツール資産リスト 作成
- 市民開発ツール別ガイド 制定・改定
- 学習カリキュラム 制定
- 策定プロセスへのメンバー全員の積極的な参加、当事者意識と理解の深化
- OJTを通じてメンバー全員にガイドラインを遵守したサポート方法を指導

【本社支援】

### 開発サポート要員スキル向上トレーニングの計画

- メンバー全員が CoE 後継者として必要な知識・スキルを習得するトレーニング計画の策定
- チーム内で知識共有のため、メンバー全員が相互に支援する体制の構築
- 市民開発ガイドライン学習カリキュラム および 社内インターンシップ講座 を意識した実践的カリキュラム設計
- 進捗シート作成によるメンバー全員の状況の可視化と評価

### 現場ハンズオン研修の計画

- 初心者を対象とした現場ハンズオン研修の計画
- 準備にメンバー全員が主体的に関与、実務に直結した教材の作成、自ら課題を発見し解決に取り組む力を育成
- メンバー全員が講師またはサポーターとして参加、指導スキル育成

## 2. 市民開発ツール環境の整備 実行系

### インフラ環境の整備

- 管理ツール（UiPath Orchestrator）、実行マシン（Azure VM）等インフラ環境の整備
- リソース管理
  - 新規ユーザー登録
  - 開発パッケージ名の払出
  - VMアカウント払出
  - Orchestratorフォルダ管理
  - ロール割当
- インフラ整備やエラー対応の手順ドキュメント化、ポータルサイト教育コンテンツへの追加
- OJTを通じたメンバー全員へのインフラ環境を整備する方法の指導

【本社支援】開発ライセンス購入、VMアカウント申請、アップグレード

### 管理ツール・実行マシン操作の個別サポート

- 個別サポート履歴のナレッジベース化、ポータルサイト教育コンテンツへの追加、問い合わせ削減
- OJTを通じたメンバー全員へのインフラ操作の個別サポート方法の指導

### コミュニティ環境の整備

- 年間〇体のサンプルロゴ 提供、ポータルサイト教育コンテンツへの追加
- OJTを通じたメンバー全員への教育コンテンツ作成・サンプルロゴ開発方法の指導

#### 市民開発ガイドラインに基づく適格な統制と適正な効果の評価

- 半期に1回（年2回）**稼働中ロボ棚卸**、**不要ロボ廃止**、市民開発の品質向上
- ユーザー開発者の市民開発ガイドライン遵守の定着
- OJTを通じたメンバー全員への新規ロボの必要性や適合性を評価する方法の指導

#### 開発サポート要員スキル向上トレーニングの実施

- **トレーニング実施**、メンバー全員が全カリキュラム **〇%クリア** 達成
- メンバー全員が講師を担当、相互学習を促進、プレゼンテーション能力や教育スキル向上
- メンバー全員の達成度を評価
- 市民開発ガイドライン **学習カリキュラム拡充**

#### 難度および効果の高い緊急かつ重要な案件のCoE開発

- 緊急かつ重要な案件を優先して **CoE開発サポート**
- CoE開発ロボ詳細ドキュメント（設計書、UAT報告書）作成、**ユーザー開発者へ引継ぎ** 自律的な運用の支援
- OJTを通じたメンバー全員への **高度な開発スキルとプロジェクトマネジメント能力** を習得する方法の指導

#### コミュニティ問い合わせ対応チャットボット開発

- チャットボット開発、問い合わせ対応の削減
- 問い合わせ履歴ナレッジベース化、チャットボットRAG連携の構築、回答精度の向上

#### ユーザーによる市民開発が停滞している案件の個別サポート

- 半期に1回（年2回）**開発中ロボ棚卸**、**開発が停滞しているロボ個別サポート**、本番稼働の実現
- 個別サポート履歴のナレッジベース化、ポータルサイト教育コンテンツへの追加、問い合わせ削減
- OJTを通じたメンバー全員への個別サポート方法の指導

#### 現場ハンズオン研修

- 半期に1回（年2回）**現場ハンズオン研修** の開催
- 最新教材ナレッジベース化、ポータルサイト教育コンテンツへの追加、問い合わせ削減
- OJTを通じたメンバー全員への **研修を企画・運営する方法の指導**

#### コミュニティ問い合わせ対応

- 問い合わせ履歴ナレッジベース化、ポータルサイト教育コンテンツへの追加、問い合わせ削減
- OJTを通じたメンバー全員への **100%回答** する方法の指導

1

#### ウェビナー受講

年間〇回以上のウェビナーを受講

2

#### e-learning受講

〇時間以上のe-learning学習

3

#### 書籍での独学

自己啓発費で専門書籍〇冊を購入し、継続的に学習

4

#### 知見共有

技術・事例ナレッジベース化、ポータルサイト教育コンテンツへの追加